

1/5 2009年を飛躍の年に 沖縄観光新春の集い



鏡開きを行う仲井眞知事(中央)ら参加者

那覇市内のホテルで開催された「沖縄観光新春の集い」に観光業界や経済団体のほか行政関係者ら約900人が参加し、沖縄観光のより一層の発展と不況からの脱却を目指す決意を新たにしました。沖縄観光コンベンションビューローの平良哲会長は「景気は厳しいが、県内経済の鍵を握るのは観光だ。今年は国内外の誘客に力を入れるなどして県民総力で入域観光客1千万人達成を目指していきたい」とあいさつした。仲井眞知事は来賓あいさつで「昨年の沖縄への観光客数は600万人を超え、過去最高の見通しとなったが、世界的な景気の悪化や円高による影響が懸念される中、この危機を新たな展開へのチャンスととらえて頑張っていきたい」と述べた。

12/24 経済情勢について県内金融機関との 意見交換会を実施



金融機関の代表らを前にあいさつする仲井眞知事

世界的な金融危機等の影響によって県内の景気が悪化している状況を受け、県は県内金融機関の代表らを集めて県庁で経済情勢に関する緊急の意見交換会を開催した。仲井眞知事は会合に参加した金融機関の代表らに対し、金融庁の金融検査マニュアルの改正をもとに「県内中小企業の経営状況など、実態を踏まえた融資判断を行うなどして県内中小企業の資金繰りを支援してほしい」と要望した。金融機関側からは「県内中小企業向けの融資は最優先に取り組んでおり、融資額も増加している」と意見が出たほか、県内中小企業への貸し渋りの動きについては「審査基準に従って手続きをしているが、借り手にとっては無条件で融資を受けられると思っている方もおり、それが貸し渋りと誤解されている」と話した。

1/5 要請行動などで仲井眞知事が訪米



国務省で要請を行う仲井眞知事

米軍基地問題の解決に関する要請および企業誘致などを目的に、仲井眞知事が1月5日から1月15日までの日程で訪米した。ワシントンD.C.では国務省と国防省に対して、沖縄の現状を説明するとともに基地問題の解決について要請を行った。また、米国議会下院軍事委員長や上下両院議員と会談したほか、シンクタンクや大学の研究者等とも意見交換を行い、沖縄の基地問題に対する理解と協力を求めた。その後、仲井眞知事はサンフランシスコ・シリコンバレーで米国企業と県内企業との業務提携に関する覚書調印に立ち会ったほか、複数社を訪問するなどして企業誘致活動を行った。

1/5 安次嶺馨氏、中野吉三郎氏が 教育委員会委員に就任



教育委員に就任した安次嶺馨氏(左)、中野吉三郎氏(右)

1日付で県教育委員会の教育委員に新たに就任した安次嶺馨氏、中野吉三郎氏への辞令交付式が県庁で行われ、仲井眞知事から両氏に辞令が手渡された。両氏は伊元正一前教育委員長、中山勲元教育委員長の後任となり、任期は2012年12月31日までの4年間となる。県立学校教育課長や教育次長を経て県学校給食会理事長などを務めた中野氏は「人材育成こそ重要だが、先生だけではできない。素晴らしい家庭、地域をつくる努力をしていきたい」とし、県立中部および那覇病院長を経て県立南部医療センター・こども医療センター院長を務めた安次嶺氏は「医者立場から子供たちの健康な体づくりに力を入れていきたい」とそれぞれ就任の抱負を語った。

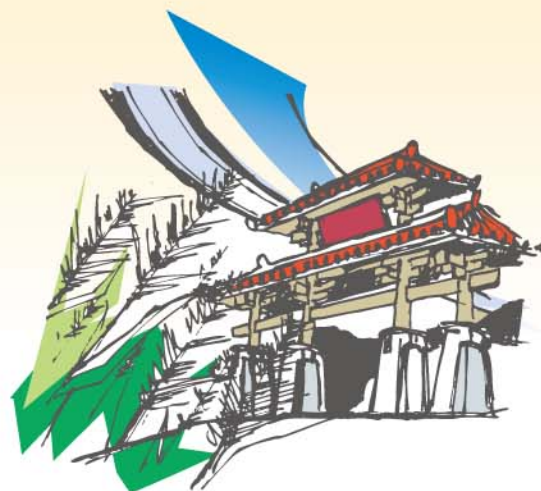
沖縄の人口・世帯の動き

人口
137万9,338人
※前月比594人増

世帯
51万8,117世帯
※前月比496世帯増



※平成20年12月1日現在



5日
訪米出発式・知事訪米(十五日まで)
二〇〇九年「沖縄観光新春の集い」
教育委員会委員辞令交付式

1月
January



28日	25日	24日	17日	16日
沖縄県信用保証協会業務視察	京都出張	県内経済情勢についての沖縄県と金融機関との意見交換会	東京出張(二十一日まで)	沖縄県緊急総合経済対策連絡会議(第三回会合)

12月
December